

## 小中学校統廃合審議会 小学校保護者意見交換会の要旨録（概要）

- (1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明
- (2) 意見交換（テーマ別市民アンケート調査結果・添付資料の説明）
  - 大テーマ：小矢部市のこれからの学校教育のあり方と学校規模の適正化・適正配置について
  - 小テーマ1．これからの学校教育で充実することが望ましいと感じていることについて
  - 2．望ましい学校規模（学級数や学級の児童数）について
  - 3．望ましい学校配置について
- (3) その他意見

### 【 石動小学校 】

◎開催日時 令和元年8月6日（火） 午後7時～午後8時39分

場 所 総合会館2F 第1会議室

出席委員数：8名 事務局員数：4名 保護者参加者数：10名

- (1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明  
（発言なし）

### (2) 意見交換

テーマ1：（発言なし）

### テーマ2

①小学校における1学級あたりの望ましい児童数については、35人以下の学級も難しいと感じるが、もう少し少人数の学級が望ましいと思う。

### テーマ3

①アンケートの回答者が60歳～70歳が50%以上を占め、小中学校の保護者世代、私達の確認している内容と乖離しているものがある。

②アンケートの10番、学校と地域との関係については、「とても重要」とする回答が少なく、重要度が低い回答になっている。そもそも子ども達は日中、学校に行き、地域との関わりは薄いのでこういう回答になる。

③地域との関わりは非常に大切だと思う。子ども達の見守り等お願いしている立場である。

④プラスの意見、マイナスの意見があり、審議会では色々な意見を参考に検討してほしい。

### (3) その他意見

①アンケートの回答ができなかった理由としては、忙しいなど色々あるが、重要なアンケートであり、アンケートの信用性にも関わる。

②石動小学校はまだ新しいため、なくなることは非常に考えにくい。

③アンケートの小学校区別の回答率が、石動校区・大谷校区に比べ、統廃合の影響がありそうな津沢校区・蟹谷校区で少し低い。PTA同士で話した時は色々な意見が出ている。

④石動地区は人口比率が高い地区であるが、この石動小校区の保護者は統廃合にあまり関心が高くないことを踏まえ、アンケート結果を見ないと数字を見誤る。統廃合に関係ある地区

は人口減少が激しい人口比率の低いところで、少数意見の方がより切迫した考えを持っているので、アンケートで多数に見えるが実際は統廃合に関係がある方々の意見は吸い上げられていないかもしれない、ということに注意してほしい。

⑤個人的な意見として、1学年1学級になったとしても統廃合は考えない。

⑥1学年1学級になったことがなく、少ない学級数の問題点がよく分からない。このアンケート結果を見ても特に問題点は感じない。逆に、多くなる方が問題であるような気がする。市の財源や1学年3～4人ということになれば何か思うかもしれない。

⑦石動幼稚園の閉園に今もショックを受けている子ども達もいる。財政面の話は理解できるが、大人の事情であって、子どもには関係ない。統廃合より、みんな、自分の母校は永久にあってほしいと願っていると思う。教育とは、建物を建てる、バスを出すなどではなく、その場所で健康的に培ったものということを感じる。子どもにそのような教育をさせてあげられないもどかしさがある。一つの教育がなくなってしまうと感じる。教育にはそれぞれの抱負、地域性が永遠にあってほしいと思う。

⑧財政、少子化、設備、色々なことを総合的に考えると仕方ない、折り合いを付けるしかない。情緒的なものはきっとあるし、跡地として何か残ったとしても消えない感情がある。

⑨私は5年生のときに統廃合を経験した。建物はピカピカでしたが、何か固い印象で怖かったし、息苦しく感じた。ガチャンと木造校舎が壊される瞬間を見たときは悲しかった。

⑩大谷校区と蟹谷校区で保育所統合事業が始まっているが、そこから小中学校の統廃合に反映させるべき意見や情報がないか。子ども達に対する影響が色々あるのではと思う。地元の皆さんからも色々な意見があったと聞いている。

⑪スクールバスに乗ったことがなかったので、25分～35分も乗っている子ども達がいることにびっくりした。統廃合になり、もしスクールバスを利用するとしんどくなることもあると思った。

⑫自分の子は文化部で学校同士の試合はないが、クロスランドで4中合同の演奏会があり喜んでいる。学校同士の切磋琢磨を考えると、統廃合はすごく難しい問題です。中学校はこの学校も20年～30年経っていて、大規模改修も未実施であり、もしかしたら中学校は石動地区であっても統廃合はありえるかもしれないと考えている。

⑬小中一貫教育については、学校区で切磋琢磨できる環境を作りつつ、小中学校の先生の配置も自由にできて、現状の中での苦肉の策なのか、流行なのかと感じた。ただし、それが本当に良いかどうか検討もつかない。

⑭皆さん、母校に対して思いをお持ちなのだと感じた。

⑮再編計画などは、市の財政状況もあり、市を成り立たせていく上で大切ですが、これから各学校の教育環境を整える改築が財政的に厳しく出来ないのであれば、それに使わなかったお金は建物以外で子ども達の教育にちゃんと使われると説明できるようにしてほしい。再編に反対ということではないが、結果を大人が子どもに話すときに胸を張って説明できるような内容にしてほしい。

⑯東部小学校は築60年程経っているが、改修等してまだまだ使えると思う。

⑰文科省の資料に、小規模校のメリットとして「児童生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、決めこまやかな指導が行いやすい」とあるが、小規模校では多くの業務が1人の先生に集中している現状の中、小規模校が良いのか疑問に思う。個人的には3クラスくらいが良い。

## 【 東部小学校 】

◎開催日時 令和元年8月7日（水） 午後7時～午後8時37分

場 所 東部小学校2F ランチルーム

出席委員数：7名 事務局員数：5名 保護者参加者数：11名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

- ①アンケートの結果に違和感がある。お年寄りがメインの結果であるが、学校統廃合において優先すべきは子どもとその保護者の意見です。回答した50、60、70歳代で7割近くになり、その意見を聞いてまとめる必要があるのか。資料の後半部分については事実だと思う。
- ②優先すべきは小中学生の保護者で、保護者全員にアンケートを配布して意見を求めてほしいかった。
- ③内容を見ると統廃合を前提としたように感じる。少子高齢化が急激に進み、私も子を持つ親として今後この地域で子どもを育てていくことに不安に思っているし、自分の子がどの小中学校に入学するのか分からない状況ですと不安になる。
- ④事務局の説明された統廃合の議論の背景であれば、このアンケートは不要である。バックデータも知らない保護者へ聞くよりも、考えている姿があるならば「限られた予算の中で、時代の変化とともにこういう選択肢もあります、こういうあるべき姿もあります」と、素直に伝えてもらった方が私達も意見を言いやすい。

### （2）意見交換

#### テーマ1

- ①東部地区には、町屋、田川地区、宮島地区がありますが、特に町屋の地区で、商店も少なくなり、獅子舞も出来なくなり、子どもと地域のコミュニケーションが少なくなっている。

#### テーマ2

- ①息子が小学校入学前に小矢部市へ引っ越して来たが、6年間お世話になり、非常に温かい学校と思う。4～5クラスでは多いかな、1～2では少ないかなと思う。上の子と下の子が関わっている姿を見ると十分やっつけていることを見させてもらっている。
- ②適正な人数について、必ずしも少人数の学校が子ども達の教育環境に悪い影響を与えるものではないと、私自身の子ども2人がこの学校で学んでいて感じている。子ども同士が異年齢で交流しているという面、地域に密着しているというのは大事な要素だと感じている。
- ③アンケートを採られて、どうして30人程度になったか分かりません。例えば、学力だけを上げるのなら少数の方がいい。アンケートを採る意味があるのか、こういう場合は児童数があってそれを割り振り、結果的にどれだけの人数になるのか決まると思う。
- ④近年、世界から見て日本の学力が落ちてきている。日本人の人格形成、自分さえ良ければ良いという感覚ではなく、みんなで助け合うという感覚も日本の教育の中に折り込んでほしい。技術面で世界の水準に追いつくためにどういうことをしなければならないのか、どのように学力を上げるのか、予算を削る所は削り、必要な所にはどんどんかけてほしい。
- ⑤少子化が進むにつれてみんな仲良くという考えが多くなっている気がする。自分達の子ど

も時代は子どもが多く、ずっと競争をしてきた。社会に出ると競争が必要になるので、ずっと仲良くとやってきた子ども達が将来、社会や世界で通用するのかと疑問に思う。学力が優秀な生徒達を伸ばしていくやり方も良いかもしれない。

⑥自分の時は、東部小学校2クラス、石動中学校6クラスで、クラス替えがあり、その中で競争心が芽生えた。しかし、石動中に進学して6クラスになり圧倒されたが、中学校の部活動で揉まれ、いい友人との出会いがあったので、今の自分がある。東部小の良さもあると思うが、小さいときから揉まれるのは子どもの成長を考えれば良いことである。東部小の保護者の多くは中学校に進学するときに上手くやっていけるのか不安を抱いていると思う。

### テーマ3

①地域毎の人数の大小により、適合できるかという問題が懸念される。中学校への進学で、私の経験では、東部は少数だから石動の人達に合わせるがあった。統合になると東部はマイノリティになるので、地域性のマイノリティの懸念を非常に感じる。

②東部小から石動小の校舎に行くとなると、石動の方からすると東部のやつらが加わってきたという感覚、統合というよりは混ぜてやっているという感覚になるのではないかと思う。そういう雰囲気には馴染めない子もいる。中学校への進学で一緒になると小学校の統廃合で一緒になることは別だと思う。今の在校生を統合で石動小に通うことは難しいと思う。

③今、東部小の全校生徒は100名ですが、令和7年には66名になります。さすがに66名だと少なすぎると思う。

④学校規模にも関わるが、配置の問題を考えたときに、途中から統合して小さい学校が大きい学校に統合されるならば、小学校から同じスタートラインに立って、小中一貫という形の方が安心して子ども達を見守っていけると感じる。

⑤東部小の人数が減っていて、この先もあまり良くないので、石動小や大谷小の方で東部小に近い方に対して、東部小に来ませんかという形で枠を増やすことは出来ないのか。少人数ということを活かして、タブレットを導入するなど興味を持ってもらえるような教育をして、東部小に近い場所に住んでいる方にも来てもらえる仕組みを作れば良いと思う。

⑥統廃合に全く関心のない保護者は東部小学校にはいない。東部小の耐震補強工事を何年前に行い、何年後かには統廃合することを考えている。先を見据えてほしい。実際に無駄なことや無駄な時間を使い、進め方が違うのではないかと感じる。正しい意見が、保護者の意見が、市長に伝わってほしい。お年寄りの意見だけが伝わっても仕方がないとアンケートだけ見ても思った。

### (3) その他意見

①親としては、子ども達が地域に対して郷土愛を育めるような教育環境を作ってほしい。将来的にこの市に戻ってくる子ども達を育てるということにも繋がっていくので、そういった観点も大事にしてほしい。

②私の子どもがきりりこども園の第1号の卒園生です。年中か年少のとき、1～2年後にといきなりの話だった。5年後とかだったら大丈夫ですが、来年とかは止めてほしい。

## 【 大谷小学校 】

◎開催日時 令和元年8月9日（金） 午後7時～午後8時14分

場 所 農村環境改善センター 農事研修室

出席委員数：5名 事務局員数：5名 保護者参加者数：10名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

#### テーマ1

①先生の負担感が大きい。疲弊している先生から学ぶことは難しく、学校規模があまり大きくなることも、先生の業務が増え、それで生徒に目が行き届かなくなり、生徒も不幸になるのではないかと思う。そこを上手く出来るような形で進められればいい。

②40年ほど小矢部に暮らしてきて、私自身も娘も大谷小学校に入った。大谷は人口の増減が少なく、暮らしていて上手くいっているような気がする。小学校に関しては、通学圏を考えると2クラスくらいが良い。

#### テーマ2：（発言なし）

#### テーマ3

①私は大谷校下ですが、問題を特に感じていません。津沢や蟹谷で部活動の問題があると聞く。

②子どもが勉強を教えてもらう先生の働く環境にも耳を傾け、先生方の働きやすい職場という観点で見てほしい。

③テーマの「これからの学校教育のあり方と学校規模の適正化・適正配置について」がズレている。子ども達にとって、どんな学校、どんな学習生活環境がこれから必要になるかを保護者からの意見を取りまとめることが、この会の本質である。意見交換会を開いたという既成事実として進むのではなく、保護者やたくさんの人の意見を聞いて、その中でより良い学校教育を考えていくという方針でいけば良いと思う。

④岩尾滝小学校は人数が少なくなったことで石動小学校へ統合したと聞いたが、それ以外に同じ理由で数が少ないことによる統廃合があったのか、それとも別の理由で統廃合があったのか。統廃合を考えるにあたって、その理由により変わってくる。他の保護者にとっても、少なくなっている危機感などが、違う地区の話だと捉えられたら困ると思う。

⑤子どもが減り、当然、登下校班の人数も減ってくる訳で、安全を考えると学童保育に入れざるを負えない状況にある。実は学童保育のために仕事を30分短く退社しているが、サラリーマンで男性としてはけっこう苦しい立場で、ここ1年半ほど経つ。地区の子ども達の数がどのくらい減って、それによって親がどのくらい困るのかという意見も聞いてほしい。登下校する子どもの数が減っていることが一番の問題で、その中で学童保育に預ける人が増えてしまうと、登下校の人数不足による不安から学童保育に入れたくない人も入れざるを負えない状況が増える。

⑥結局、統廃合は子どもの減少ありきで、少子化対策は違うところで話をされるということか。小矢部市として、この辺に家を建てれば良いですよとアピールするとか、増やす方向に頑張ってもらいたい。小学校が新しく建ったら今の小学校の周りは家がなくなって、そこはお年寄りだけが住むことになる。子どもの通うところに家が建って、そこに集落が生まれていると思う。もっと市で子どもを育てるということを考えてほしい。

### (3) その他意見

①子どもが少ないから安易に学校を統合してしまうと、人が減る集落が出てきて、元々そこにあった地域の祭りなどが失われていくことに繋がると思う。そのようなことも考慮して検討してほしい。

②アンケートの回答者は60代70代が多数です。これだけをもって討論されることはないと思うが、子育て世代の意見が一番大事で、こういった場を多く持って、耳を傾けてほしい。

## 【 蟹谷小学校 】

◎開催日時 令和元年8月4日（日） 午前10時～午前10時59分

場 所 蟹谷小学校1F 図書室

出席委員数：5名 事務局員数：4名 保護者参加者数：4名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

#### テーマ1

- ①学習面では、小学校は基本、競争心を煽るよりも平等に学力をあげていくことが大切です。一人ひとりに平等できめ細やかな教育が行われることが必要です。
- ②学校でいじめの問題があっても、家では学校の実態がなかなか見えないので、学校内の管理体制、学校で先生と生徒のコミュニケーションを大切にしたり、子どもが何をして遊んでいるかを把握したり、いじめの種がないか気配りをしてほしい。

#### テーマ2

- ①学級の人数は25人くらいが自分の経験から言っても良いと思う。先生と親しくなり、子ども同士も知り合える程度かと思う。
- ②クラスについては、あまり多くて6年間同じ学校にいても名前も知らない人がいるということを見ると、2～3クラスが良いと思う。

#### テーマ3

- ①統廃合を前提に、一番は平等であるということから考えると、地理的に統合する校下の真ん中あたりが良いと思う。遠くなる生徒にはスクールバスの利用を考えなければならない。
- ②地区の伝統を守ることも大事であり、少子化ということで更に統廃合となると、より遠くの学校へ行くことになる。統廃合によって離れたところに学校を配置すると、自分の地域の歴史や文化を守っていこう、地域行事やイベントに参加しようという意識が薄れるのではないかと思う。今でさえ、少子化が進んで公民館行事などは少ない人数で行っている中で、更に拍車をかけることになると心配する。
- ③学校へ公民館の祭りに来てほしいという依頼が現在もあると思うが、学校がまとまってしまうと、各地区の公民館行事に呼ばれて毎週どこかに出向かなければならない、かつスポーツ少年団もあると、家族とのコミュニケーションの時間や家で過ごす時間、自分の自由な時間というものが無くなるのではないかと危惧している。
- ④アンケートの「小学生の通学バスに乗る限度時間」という項目では、30分以内が望ましいと多くの方が回答している。バス乗車時間30分以内が限度と言われている中で、今は2km以上という基準があるが、30分以上歩いている、45分歩いて通学している児童をバス通学の対象にしてほしい。
- ⑤市全体の公共施設の話がされたが、私は現在の小学校単位に不自由さは全く感じていない。よって、他の公共施設で20%削減すれば良いのではないかと思う。

⑥小学校は最近、耐震化もしたところで、まだまだ使うことができると思う。

⑦私は切磋琢磨せずに、のびのびと自分の成長につながる今の体制で良いと思う。また、地元から離れた大学へ行くと、そのまま帰って来ず就職する、又は戻って来てもなかなか地域に溶け込めない状況がある。結果、農業の働き手の減少など、悪循環につながっていると考える。地域から子どもを遠ざけるよりも、なるべく地域に残して、地域の人達がどんなことをしているかを勉強させる方が良いと思う。昔からある農業や近所との付き合いなど、保護者や地域がみんな教えて子ども達の成長を支えていくことも必要です。少子高齢化が進む中で市の財産である子ども達を確保していくことも今後は考えないといけない。そのためにも子ども達を地域から離れさせてはいけない。

### (3) その他意見

(発言なし)



## 【 津沢小学校 】

◎開催日時 令和元年8月12日（月） 午後7時～午後8時9分

場 所 津沢コミュニティプラザ 会議室1・2

出席委員数：8名 事務局員数：5名 保護者参加者数：14名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

#### テーマ1

①今、教職員のなり手が少ない、教職員がすごく大変だと思う。教職員のなり手を増やすためにどうするのが必要で、統合して教職員を充実されるなら良いが、統合せずに教職員のなり手がなくて教育がしっかり出来ないということであれば問題です。子ども達の教育を考えたときに、先生達が働きやすい環境をどうやって作っていくかを考えないと、この問題はずっと解決されない。先生達が働きやすい環境を充実すれば、子ども達に対する余裕も出来るし、教育に対する余裕も出来るのではないかと思う。生活面の指導については家庭であればいい話なので、家庭で出来ないことを学校で少し補う程度にしていけば良い。家庭で出来ることは家庭でやり、先生が働きやすくて、先生になりたいという人を増やして行けば、すごく循環が良くなると思う。

②アンケートにはお年寄りと保護者の世代が混じり、データが年齢で分けていないと感じた。このアンケートの信憑性はどこまでなのか、参考になるのか、本当の気持ちをどこまで聞いているのか、と思った。

③学校教育の充実については、部活動・スポーツ少年団を他の地域に行っている方もいるので、もう少し選べる環境があればいいと思う。本当にやりたいスポーツが出来ないこともあるので、そういう所を充実させてあげたい。

#### テーマ2

①津沢小学校の児童数の推移を見てびっくりしている。

②津沢小学校の今のままの流れで1クラス40人以下になってくると、小学校から中学校までそのまま上がるので9年間ずっと同じ子達と過ごさなければいけない。子ども達の環境に変化がないことが非常に辛いことになる。それが9年間ずっと1クラスということは、クラスの中での優劣も付きやすくなるし、子どもにとっては全体的にデメリットの方が多いと思う。少人数学級でクラス替えが出来るよう35人以下というような環境づくりをしてほしい。

#### テーマ3

①学校配置は今あるものを使うのか。統合で今ある所を使えば遠くなるが、建てるかどうか気になる。

②中学校だけ見ると、令和5年以降レッドゾーンと思う。

### （3）その他意見

①部活動の人数があまりにも少なく、蟹谷中学校と一緒に部活動をしている。統合しているような状況にある。もし部活動だけの問題であれば学校はそれぞれでも良いかと思うが、集団生活の中で養っていくべきものがあるので、切磋琢磨ということもよく聞くので、人数が多い方が良いと思う。部活動も中学校で続けていくということであれば統合しても良い。

## 小中学校統廃合審議会 中学校保護者意見交換会の要旨録（概要）

(1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明

(2) 意見交換（テーマ別市民アンケート調査結果・添付資料の説明）

大テーマ：小矢部市のこれからの学校教育のあり方と学校規模の適正化・適正配置について

小テーマ1．これからの学校教育で充実することが望ましいと感じていることについて

2．望ましい学校規模（学級数や学級の児童数）について

3．望ましい学校配置について

(3) その他意見

### 【 石動中学校 】

◎開催日時 令和元年8月29日（木） 午後7時～午後7時53分

場 所 総合会館4F 中会議室

出席委員数：10名 事務局員数：5名 保護者参加者数：6名

(1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

(2) 意見交換

テーマ1：（発言なし）

テーマ2：（発言なし）

テーマ3

①統廃合にはすぐにはならないと思うが、どれくらい先で考えるのか、生徒数だけで捉えて進めるのか、市の資産の話なのか、平均値で行くのか、生徒数の平均値でいくと答えが出ているという気もする。

②統廃合で学校を新設となった場合、学校にいくらぐらいかかるのか。皆が統廃合しましょうと学校を作ると、その分の税金が増えると本末転倒になる。

(3) その他意見

①統廃合の決着までまだ先だと思うが、子ども達は石動中学校で生活をしている。市は校舎の修繕を考えているのか。

②実際生活しているの子ども達の生の意見を聞いて、そこをくみ取ってほしい。大事な税金の使い道として、そこはあるべき姿があればと思う。

③昨今の働き方改革で富山県の成績の高さが維持できるのか。現状を100と捉えた場合に働き方改革を進めると必ずマイナスになってくると思うが、そこを手厚くしてほしい。そこを可能にするためにはどうするのかということも今後話を進めてほしい。



## 【 大谷中学校 】

◎開催日時 令和元年8月26日（月） 午後7時～午後8時14分

場 所 農村環境改善センター 農事研修室

出席委員数：9名 事務局員数：4名 保護者参加者数：7名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

テーマ1：（発言なし）

#### テーマ2

①慎重に進める必要があり、決して慌てる必要はない。部活動のあり方も多分この10年で変わるので、先を見据えて見通して決断をしてほしい。私が思う教育で大事なことが3つ程ある。

1) 地域との連携。小矢部はいい状態である。事件も少ない、生徒は落ち着いている、一生懸命頑張っている生徒が多い。そういう意味で、地域が支えて、地域で育てる、地域との連携が上手くいっている。その証拠に、PTA活動もスムーズ、協力的、子どものために力を貸そうという思いがある。

2) 少人数で丁寧な教える。きめ細やかな教え方をするにはどうするかである。

3) 部活動。子ども達には自分の好きなスポーツを精一杯頑張ってもらいたい。しかし、その部活動がないことが、今、子ども達の本音ではないかと思う。

いくつか切り離して考える方法がある。例えば、丁寧な授業、そして地域との連携を図っていくには、今の4つの中学校のままでいい。スクールバスも必要ないし、自転車で通うことが出来る。地域に根ざしてPTA、若しくは地域との絡みで子ども達を育てていくことが出来る。少人数も今の学校のままであれば可能である。一方、部活動は今のままだと上手くいかない。学校を4つ残したまま部活動の一つにして、今までなかった部活動を増やす。そのようにして、自分達がやりたいスポーツが出来る環境を作ってやる事が出来る。文科省の地域のクラブも認める、他県の合同部活動を参考にするなど、今後いい方向を考えてほしい。

#### テーマ3

①身近なところでも通学路の安全が確保できていない状況にあるので、慌てて結論を出すことはない。統廃合になると近くなることはなく、遠くなると思う。親として学校の勉強面も心配ですが、毎日無事で帰ってきてほしいということもある。通学路の拡幅など、保護者の意見を聞いてほしい。PTAで迂回の通学ルートを設定するなど、現状の通学路で事故が起きないのではなく、私達が遠回りをして通学をしている状況がある。教育のことだけでなく、学校配置の時には安全な安心して通える通学路の確保を考えてほしい。小矢部市が学校のそういうところに力を入れていることが分かれば、魅力を感じて定住促進にも繋がる。

②令和13年に150人6学級ということは各クラス25人になって、学習面で先生目の目も

行き届きやすく適正な数字と思う。年によっては増減しているので、慌てる必要もない。

③1クラス30人くらいが良い。3クラス程度が学校生活を行う上で先生と生徒がより良い関係を作れると思う。統廃合の関係では、30人で3クラスだと90人になるので、90人を目安として考えてほしい。通学距離の関係から真ん中に学校を作れば良いが、基本的には既存校舎を活かすことになると思うので、それは慎重に考えてほしい。

④子どもは大谷中学校3クラスでのんびり過ごしている。自分は石動中学校で当時45人6クラス、1学年200人以上いたので顔も分からない同級生もいた。大谷中のPTA活動をして、地域が子ども達に積極的に接し、地域と学校が連携している状況が見える。今の状況で良いと思うが、今の状況が続くのであれば、もう少し規模が大きくなって良いと思う。その辺だけ将来的に考えてほしい。

⑤親として大谷地区の朗らかな部分が非常に良いと思うが、競争がない中で生活してきて、高校生になったときに突然競争社会に放り込まれて苦勞するという話は複数聞く。ある程度の学校規模が必要ではないかと思う。実際に生徒数の推移を見ると、学校環境は良いと思いつつながら、この4校を継続できるかは数字だけ見ると難しいと思う。

### (3) その他意見

①人数が少ないから統廃合するというのではなく、例えば、統廃合により財政的にも余裕が出てくるとか、浮いた財源で教育制度を整えられるとかの展望があれば、教育を受ける側としてはそれならばという気持ちが持ちやすいと思う。

②備品や消耗品に関しては、授業や子ども達に必要なものは当然支給してほしい。つまり学校を新しくするために、学校のリニューアル、改築、増設を見合わせると聞いている。

【 蟹谷中学校 】

◎開催日時 令和元年8月30日（金） 午後7時～午後8時7分

場 所 蟹谷中学校2F 図書室

出席委員数：6名 事務局員数：5名 保護者参加者数：15名

（1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

（2）意見交換

テーマ1：（発言なし）

テーマ2

①アンケート結果から1学級あたり望ましい児童生徒数と学校規模を考えると、小中学校いずれも1校ないし2校が過剰になってくる。いざ廃校になってくると地域の諸事情が出てくるので、その辺りをどう調整していくかが難しいと思った。

テーマ3：（発言なし）

（3）その他意見

- ①実際、蟹谷中学校は一番生徒数が少なくなってきた、このまま維持が一番難しいと思う。
- ②合併になると、メルヘンの建物をどのように考えるのか。残す方向か、再利用か、それとも中間に新しい学校等を造るのか。

## 【 津沢中学校 】

◎開催日時 令和元年8月28日(水) 午後7時～午後7時59分

場 所 津沢コミュニティプラザ 会議室1・2

出席委員数：6名 事務局員数：4名 保護者参加者数：7名

### (1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明

(なし)

### (2) 意見交換

テーマ1：(発言なし)

#### テーマ2

①子ども達のことを考えれば、クラス替えがあった方が良いと思う。100人を切る状況であれば、せめて中学校は2つくらいがくつついても良い。その点で子ども達も増え、部活動もお互い切磋琢磨するのでレベルアップ出来る。たくさん選手がいれば県大会に出場するなど、チームも強くなる。学習面も成績を凌ぎ合い、市全体の学校が良くなる。1学年の数が多くなる、学級数が多くなることは良いことと思った。

②9年間同じメンバーということは良いとは思えない。良い面もあるが、特に学年に1クラスしかなかったら、9年間人間関係が固定してしまう。せめて中学校に上がる時は一回関係がリセットするというか、新しいメンバーが何人か入った方が良い。参考に小中一貫ということもあるが、結局、新メンバーが入ってきた方が活性化になるのではないかと思う。

テーマ3：(発言なし)

### (3) その他意見

①今後、クラス替えも出来ない学校が出てくるので、市民が思っている適正規模から考えても、統廃合ということは避けられないと思う。統廃合となると30年40年先を見越したことを考えなくてはいけない。市では20年30年後に生徒数がどのように推移するか、データがあるのではないか。

②意見交換会の案内が来て多くの保護者と話し合ったが、中学校も子ども達が少ないから例えばクロスランドの横に大きい学校を建てればという話があり、いきなり目茶苦茶なことは無理だという話もしてきました。例えば、ものすごく大きな住宅街が出来て人口が爆発的に増えるようなことが無い限りは、子ども達も少なくなり、10年後になると人口も28,000人くらいになる。小矢部市は人口の割に中学校が多い。

③総論として統廃合した方が良いと思っても、それが10km、20kmも先の所に通うとなると保護者はそこまでしなくてもと思う。



## 小中学校統廃合審議会 地区意見交換会の要旨録（概要）

- (1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明
- (2) 意見交換（テーマ別市民アンケート調査結果・添付資料の説明）  
大テーマ：小矢部市のこれからの学校教育のあり方と学校規模の適正化・適正配置について  
小テーマ1．これからの学校教育で充実することが望ましいと感じていることについて  
2．望ましい学校規模（学級数や学級の児童数）について  
3．望ましい学校配置について
- (3) その他意見

### 【 石動中学校区 】

◎開催日時 令和元年9月14日（土） 午後7時～午後8時47分

場 所 総合会館4F 中会議室

出席委員数：11名 事務局員数：4名 地区参加者数：29名

- (1) 市民アンケート調査結果・添付資料の説明  
（発言なし）

### (2) 意見交換

テーマ1：（発言なし）

### テーマ2

- ①埼玉にいる私の孫が高知県の小中学校統合校へ山村留学したが、小規模校で、非常に手厚い学校教育である。先生方が父兄の前で「私達にお任せ下さい。安心して任せて頂いて結構です。」と非常に自信たっぷりに挨拶をされ、こんな学校のやり方もあるのかと非常に驚いている。
- ②児童数が減ることがデメリットか、逆にメリットで教育としてふさわしい面が多い。
- ③黒部市の小学校統合は本市の場合と事情が違う。本市が昭和40年頃に実施したことを、今、黒部市が実施している。若林小学校のような非常に小さい学校を大谷小学校に統合した事例のように思う。
- ④大きな災害が起きたときに小中学校が避難場所になるし、多くの人がグラウンドや体育館をよく利用している。
- ⑤人口減少対策を行い、子育てがしやすい市であることを逆にメリットとしてもっとPRをしていくべきである。
- ⑥石動小学校だけが変化が無く、大谷・蟹谷・津沢はそれぞれ生徒数が激減している。
- ⑦部活動のあり方は、毎日ではなく週1、2回になるが、他の学校と一緒にすればどうか。
- ⑧部活動を地域へ移すには地域の受け皿が必要ですが、小学生のスポーツ少年団は既にそういう体制が出来てる。いきなり地域へは難しいので、手前の段階として合同部活動などをこれから実情に応じて考えていく段階にある。
- ⑨部活動の件では、地域への移行、合同部活動など、色々な部活動をという発想があるので、

逆に施設として今の体育館やグラウンドが一定数必要になってくる。

### テーマ3：(なし)

#### (3) その他意見

- ①アンケートに小中一貫教育の設問があることが疑問である。統合問題は統合問題として、きっちり整理してもらい、その後、教育のあり方として小中一貫教育を議論すれば良い。小中一貫の議論を混ぜると論点がずれてくる。
- ②市議会はいくまでも慎重で、統廃合の議論と小中一貫校の議論をトータルに議論することは慎重であるべきというスタンスです。
- ③アンケートの回答率が低いので気になる。これをもって市民の意見とするには低い。
- ④アンケートの回答者の年齢構成が気になる。子ども達がいる若い年齢層の回答が非常に少なく、年寄りが多いことに対してどのように考えていくかが大切である。
- ⑤若い人のアンケートの回答が少なかったことは関心がないからか、どう見るかである。
- ⑥中学校の生徒数を令和13年まで見ているが、世の中は劇的に変わります。20年、30年の予想も見て考えてほしい。
- ⑦学校施設は色々整備済みであることから、メリットを活かしてデメリットを克服するという形で、現状の学校の施設を使いながらより良い教育をしていく努力をすべきである。
- ⑧PTAの望んでいることは何か、その年代層の意見は、しっかり分かるまで教える丁寧な指導ではないかと思う。
- ⑨学校も耐震化、エアコン導入などの環境を整備してきている。耐用年数があるものを壊さずに、市独自の特色ある施策というもの、親が魅力を感じる教育というもの、そういう市政を考えていくことを期待する。

## 【 大谷中学校区 】

◎開催日時 令和元年9月21日（土） 午後7時～午後8時27分

場 所 農村環境改善センター 多目的ホール

出席委員数：9名 事務局員数：4名 地区参加者数：22名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

#### テーマ1

①資料5ページ、教職員に関することについて、4番の子どもの悩みへの真摯な対応などと5番6番8番から、一人ひとり行き届いた教育を期待したいという声のように感じた。もう一つは、小中一貫校について、一人ひとりに対して期待されていることを小中学校ひっくるめて考えていいのだろうか、小学校は小学校で中学校は中学校でと感じた。

②学校と地域との関係について、避難所としての機能、住民のスポーツ活動の場としての機能など、「とても重要」と「重要」を合わせるとすごく大きな位置を占めている。改めて施設が、地域の中で大きな役割を果たし、期待されているということを再認識した。

③部活動のあり方に関しては、地域で部活動をする場合、別の施設で行うよりも学校の体育館やグラウンドを利用し、地域の指導者が行うことをイメージして考えなければならない。先生の加重負担を解決するという意味でも地域で進めていく方が良い。

④アンケート10番、避難所としての役割が「とても重要」「重要」、合わせて80%を超えていることから、文科省だけでなく、防災の面からも必要である。

#### テーマ2

①1クラスの人数40人という基準の中で、保護者の意見に合った30人、30人以下に、子どもの成長段階で適正な人数や暮らす上で欠かせない人数という形を小矢部市の方から変えていこうという意志が必要である。少人数はきめ細やかな対応というメリットがあり、そのような教育施策を進める考え方が必要である。学級数が減ることのデメリットと言われても中々ピンと来ない。

#### テーマ3

①大規模化の場合は、全教職員による児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい、というところが大事である。小規模だと先生が色々知ってることが多いので対応しやすい。

②小学生のバス通学については、それぞれの地域を回るので子どもがバスに乗っている時間が長く負担がかかる。遠くなることで長い間バスに乗っていることも困る。

③時代の流れで、少子化、いずれは統廃合という問題は避けては通れないとは思いますが、学校が遠くなるという問題が出てくる。スクールバスは短い時間で便も多く出れば尚更良いと考える。通学路については、子ども達の安全を確保するという意味で、歩道、フェンス等の整備をしてほしい。

④生徒の生の声も大事にしてほしい。現在の中学生は学校の現状を受け入れていると思うが、

生徒にとって一番要望したいのは部活動ではないかと思う。統廃合と部活動を切り離して考えてほしい。

⑤学校が地区からなくなることは、あってはならない。現在、地区と学校の関係はすごく絆が深いし、PTA活動も盛んに行われている。それから学校を頼りにしている面も多く、また地域が学校を頼っている面もあるので、この連携を崩して欲しくない。

⑥アイデアを募集すればいい。急ぐ必要はないし、小矢部市や子ども達のためにどうすれば良いのか、もっと話合いの機会を多くしてほしい。

⑦とにかく検討してほしい。生の声、生徒に直接聞くこと、子ども達がやりたい部活動が出来るというのを第一優先に、それを出来るだけ早く対応してほしい。学校統廃合とは別に考えて、統廃合をしなくてこのまま4中学校を残すということも考えてほしい。

⑧小学校と中学校を別々に考えて、小学校は統合しないが、中学校で統合すればどうか。小学校高学年段階における子どもの身体的発達・思春期の到来時期の早期対応など、要するに子どもの成長に伴って、子どもが欲するところの教育、子どもに付与すべき教育というものはその年代によって変わっていくべきもので、その幅は広く、小中一貫というトータルな考えもあると思う。

⑨小さい子どもには一人ひとりにきめ細かい教育をしてほしい、中高生になれば受験や社会のことも出てくるので切磋琢磨する機会を与えてほしいという声がアンケートから読み取れる。とすれば、小学校と中学校では考え方を切り分けるべきである。統合して機会を与えるということも一つの考え方だと思う。

⑩中高生になると特に切磋琢磨という要望が大きくなる。そこで、中高一貫教育、子ども達の将来、子ども達の教育、そういう純粋なところに焦点を当てて是非検討してほしい。

### (3) その他意見

(発言なし)

## 【 蟹谷中学校区 】

◎開催日時 令和元年9月22日（日） 午後7時～午後8時25分

場 所 蟹谷中学校 体育館

出席委員数：7名 事務局員数：5名 地区参加者数：9名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

テーマ1：（なし）

テーマ2：（発言なし）

### テーマ3

①小学校は1クラス30人くらいで2学級から3学級となれば、自ずとどこかの学校と一緒にしなければならない数字になる。これがアンケートの数字という捉え方をされると、少しおかしいという気がする。

②アンケートの回答者が、統廃合をしていかなければならないことを理解しているのか疑問に思う。そこをよく踏まえた上で、分かるような出し方を書類で説明してアンケートを採ってほしい。一番大きなことは、統廃合でアンケートが来たから出したということであれば、答えが非常に無責任になってくる。アンケートを参考にしますという主旨をきちんと出していないと、アンケートの意味がずれてくると感じた。

③適正配置をすると距離的に重複する地域もあるので、市全体を1校区と考えた方が良い。通学が問題になるので、スクールバスばかりではなく、交通体系の見直しも審議の中で色々と考えてほしい。各校区にこだわらず、特色ある学校教育、小中一貫教育についても色々考えてほしい。蟹谷校区にはスポーツ施設が多くあるので、スポーツの好きな子を全部寄せるとか色々な答申の仕方を考えてほしい。そのためにも交通体系も一緒に考えてほしい。

④資料2ページの5番、教育の関心についてに「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答した人達を排除したものが、このアンケートのあるべき姿ではないかと思う。関心のない人達の意見をここに入れることによって、変な答えが出てこないか心配である。

⑤資料12ページ、学校別の児童生徒数・学級数の推移と今後の予測を見て、非常にびっくりした。小学校の場合は令和7年から27年後に580人くらいに、中学校の場合は令和13年の33年後に200名前後になってしまうことが類推される。この数字を前提に考えていかないと、例えば令和7年の児童数ではなく、もっと長期的な30年後50年後の児童数を前提に統廃合を考えてほしい。そうしないと、財政的に無駄なことが起きる可能性もあるし、児童数が減るということは人口減にも繋がっているわけで、財政面でも非常に厳しくなることが予測される。

⑥他所から人を呼び込むような教育をしてもらいたい。例えば、統廃合・適正化・適正配置後に、他所からも通いたいと思わせるような教育システムを作ってほしい。

⑦小中学校の一貫教育は推進してほしい。今の6・3体制は殆ど意味をなしていないので、そのバリアをとることで、柔軟で多様な教育のあり方が出来る。能力のある子は6年生でも

中学1年生の授業を受ける、能力のある小学校高学年の子が中学校の部活動に入る、中学2・3年生が小学校低学年の面倒を見るなど、学力やスポーツ能力の向上にも繋がるし、交流をしながら情操教育に繋がる。出来れば小中一貫教育を前提にした適正化を考えてほしい。

⑧これからはIT活用が教育現場においてより一層重要になってくる。それに備えた適正化、教育のあり方を考えていくことが重要である。

⑨学校は一つの地域のシンボルでもあり、無くなることは非常に残念であるが、例えば、公民館施設を入れて地域のお年寄りと小中学生と一緒に活動する、駐在所と一緒につける、学校だけではなく他の施設もつけるなど、教育だけを考えるのではなく、特色のある地域全体を考えたシステム作りをしてほしい。統廃合を通して人を呼び込む、小矢部市が発展できるようなビジョンを明確に示してもらえれば市民も納得できると思う。

### (3) その他意見

(発言なし)

## 【 津沢中学校区 】

◎開催日時 令和元年9月29日（日） 午後7時～午後8時54分

場 所 津沢コミュニティプラザ 会議室1・2

出席委員数：7名 事務局員数：5名 地区参加者数：22名

### （1）市民アンケート調査結果・添付資料の説明

（発言なし）

### （2）意見交換

#### テーマ1

①一層競争を激しくするような学校のあり方は避ける方向で対応してほしい。人間らしい感情や社会性は中々身に付かないし、一度身につくとそれを中々変えることができません。知育が絶望的に非効率的だというふうになるまで、小さな学級、小さな学校という方向で考えてほしい。ヨーロッパの先進国では1クラス25人程度が当たり前で、一番良い学校は100人程度と言われている。全ての学校職員が子ども達の様子を初めから終わりまで分かる状況を指している。競争に勝つことも大事ですが、傷つく子ども、社会の中に入っていけない子どもを作らないということが一番大事である。

②人口減で数の少ない中でというよりも、切磋琢磨してその中で人間性を築き上げていく。感性も大事ですが、切磋琢磨をしながら両面で人間性を作っていくことが一番大事です。そういうことから、市内1校だけにするのではなく、切磋琢磨できる、その中での教育現場のあり方というものが非常に大事です。

③学校が地域の核として非常に大事で、核がなくなった地域はあり得ない。

④今、教育の現場はブラック企業と言われる職場です。このことを解決せずに適正化問題はまた先の話である。もっと教育にお金をかけるならかけるで、教員を増やして、子どものコミュニケーションがとれるような学校にしなければならない、そのことが先決問題である。

#### テーマ2

①学級規模・学校規模については、みんなで考え、議論する必要がある。個人的には、今の状態で良い。児童数が100人だから少ないということではなく、一生懸命にやっている姿が大切に、まだ統廃合という時期ではないと思う。

②学校に子どもが多いことと競争力がつくことは関係ない。教育で大切なことは、子ども一人ひとりの個性を伸ばすことで、日本あるいは世界で通用する基本的なものの考え方を早いうちに教えてもらいたい。小矢部の方は自分をあまり主張しないが、自分の人権を大事にしていけないことになる。自分の意見をしっかり言える子どもを育てることが大事である。子ども一人ひとりを今まで以上に大事にして、個性を育てることが大切である。そういう子ども達は成長していざという時に自分で判断できるようになる。

結論は、学校規模を大きくする必要はなく、教員の過酷な労働状況や帰宅しても子どもの相手をする親がいないことを解決する方がもっと大事である。どういう子どもを育てたいかということを議論してほしい。

③アンケート回答者の年齢構成や意見交換会の参加者に若い人が非常に少ないことが第一

の問題である。生徒数減少問題に対しての議論はあるが、食い止める議論が無い。例えば、これから親になる人に人口減が自分達にどのような影響をもたらすのかを伝えて考えてもらう機会が必要である。これは学校の統廃合と並行してやらなければならない。もし、このまま状況が変わらないということであれば、小学校、中学校各1校である。ただし、小学校と中学校が一緒になるかどうかは違う話だと思う。

④アンケート回答者の年齢層を見ると50～60代が50%を占めて、子育て世代の30～40代の回答者が非常に少ない。今、子育てをしている人達の意見がより大事で、実際の親世代の考えを引っ張り出すことが重要です。

### テーマ3：(なし)

#### (3) その他意見

①学校配置の問題については、小中一貫教育の説明を見ていると切磋琢磨ということに重点に置いているようであまり良くない。また、統廃合して学校施設が減るということは、過疎化、人口減に拍車をかけるので、統廃合をできるだけ我慢して本当の教育をやるのが市民の幸せにつながると思う。

②学校は国の考えていることが反映されるし、親は暮らしの経験から子どもにはこうあってほしいという思いがある。保護者の希望を十分に満たすような再編を